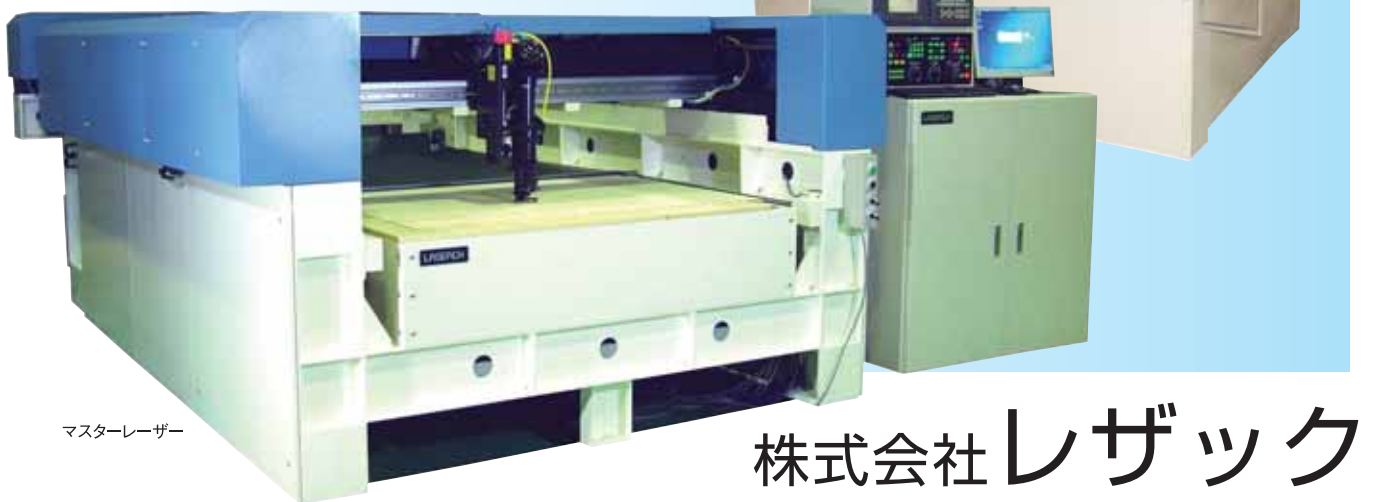


ソフト開発から メンテナンスまで 抜型システム総合メーカー

アクアマスター



マスターレーザー

株式会社レザック

抜型業界を牽引、 抜型製造装置を開発・製造

様々な素材を切り抜き量産するための「抜型」。この「抜型」を製造・加工するための装置を製作しているのがレザックだ。レザックの設立は昭和57年。すでに紙器抜型製造業社として昭和39年より事業を展開していた菱屋から分社してのスタート。当時、まだほとんどの工程が手作業によって行われていた抜型業界において、いち早く機械化に着手した菱屋が、自社用に開発したレーザー加工機や製図ソフト等を外販するために設立したのである。

レザックの開発能力の背景には、抜型業界で半世紀近く事業を続けてきた菱屋の技術力がある。事実、これまで他社では製作が不可能であった難易度の高い抜型も、レザックでは製造装置そのものをつくってしまおうという、他社には真似できない方法で実現してきた。現場が必要とする、従来にはない製品やシステムを開発することが同社のポリシーだ。

次世代レーザー 「超短パルスレーザー」を開発

レザックの社長であり菱屋の社長でもある柳本忠二氏は、「手作業でも加工を行っていた時代は『職人さんの精度』に頼っていました。現在の加工を行っている時代は『職人さんの精度』に頼っていましたが、現在頼るべきは、『加工機の精度』であり、それが部品の精度につながります」と、機械化が進み続ける抜型業界の現状を語る。

「しかし、新機種も2年で行き渡ります。機械の寿命を鑑み10年の間にさらに精度の高い機械を開発し、リピートオーダーをいただくかなければなりません」と語る柳本社長。そのような中で同社は、CADシステムによる製図ソフトに加え、レーザー加工機、自動製図サンプルカット機、自動刃材切断・自動曲げ機、面板加工機、自動プランキングシステム、ウォータージェット加工機等、時代を先取りした幅広い製品ラインナップを実現し、販路も国内だけでなくとどまらず、欧米やアジア諸国にまで広く展開している。

近年では、数校の大学と連携し次世代レーザーといわれる「超短パルスレーザー」の研究に着手し、製品化に成功。現在、電子部品関連の基板や携帯電話・デジタルカメラに採用されている粘着テープの抜き、トリミングの工程で使用されている。

「抜型の製造装置を手がける企業は他にもありますが、ソフトウェアからメンテナンスまで一貫して提供している企業は少ないのです」と、自信を持って柳本社長は話す。

天皇皇后両陛下がご視察

平成17年には天皇皇后両陛下が行幸啓の際に同社をご視察。レザックが誇る自動抜型加工機のデモンストラーションをご覧になり、熱心にご質問されたという。

「私個人はもちろん、レザックにとっても、大変名誉なことであり、今後、延々と語り継がれる出来事になりました」と。新技術開発を目指し続ける同社にとって、大きな追い風になったことは間違いない。

主な事業内容

CADシステム、自動製図・サンプル加工機システム、レーザー加工機システム、ウォータージェット加工機システム等の製造・販売、製品のメンテナンス、消耗品の販売等



柳本忠二さん
代表取締役

Company Profile

株式会社レザック

住所 / 〒581-0042
大阪府八尾市南木の本9-84-1

創業 / 昭和39年

設立 / 昭和57年12月

資本金 / 5,000万円

従業員 / 120名 (平成21年1月現在)

T E L / 072-995-0394

F A X / 072-995-0392

ISO 9001

全国
18

<http://www.laserck.com/>